

報告事項又

「まんがで読む鳥取県 郷土が生んだ文学者たち」の発行等による郷土情報の発信について

「まんがで読む鳥取県 郷土が生んだ文学者たち」の発行等による郷土情報の発信について別紙のとおり報告します。

平成26年3月21日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

郷土のことを知らない子どもたちが増える中、鳥取県立図書館では、今年度「ふるさと鳥取コーナー」を開設し、県民、特に子どもたちに鳥取県の良さや郷土が生んだ優れた文学者や偉人の紹介に力を入れている。

このたび、子どもたちにも、わかりやすく、より親しみやすく郷土の人物を紹介するため、漫画を使った冊子及びパンフレットを発行した。

1 「漫画で読む鳥取県 郷土が生んだ文学者たち」の発行について

鳥取県出身の文学者について、その生涯や業績・作品を、初めての人にもわかりやすく紹介した小冊子を、平成16年度より継続し発行してきた。今回は、それを踏まえて小学生向けに漫画を活用して発行した。

【内容】

『漫画で読む鳥取県 郷土が生んだ文学者たち』

- 1 尾崎放哉 自由律俳句の創作に命をかけた俳人
- 2 生田長江 「個人」と「社会」を見つめ続けた評論家・翻訳家
- 3 河本緑石 ふるさとの大地に生きた詩人
- 4 尾崎翠 孤独、悲しみ、ペーソス。モダンガールの偏愛

A5サイズ、40ページ、1,200部

4名の文学者の生涯を

漫画で紹介し、授業にも活用できるよう、先生向けの解説・参考文献をつけている。

【配布先】

小中学校、高等学校、特別支援学校、公共図書館他、販売（500円）分もあり



2 「教育の父 遠藤董」の発行について



遠藤董氏は、鳥取県出身の教育者として、小学校教育、女子教育や図書館設立など、鳥取県の教育・文化の発展に大きな貢献をし、特に後年は盲・ろう学校の創設に尽力し、盲・ろう教育に心を捧げた人物である。

こうした功績を県民の皆さん、特に児童、生徒、教員に知ってもらうため、漫画で紹介したパンフレットを学校に配布するとともに、手話言語条例や全国障がい者芸術・文化祭、県民の日関連の事業に活用する。

A5サイズ、8ページ、7,000部

【発行】遠藤董先生顕彰会

【協力】鳥取県立図書館、鳥取県立鳥取盲学校、鳥取県立鳥取聾学校

3 特別資料展示室での企画展について

昨年7月に郷土資料室内に「ふるさと鳥取コーナー」を新設し、鳥取県の優れた文学、自然、歴史、人物についてより見やすく展示した。その後も時機に応じて、震災や文学、人物について企画展を開催した。次年度以降も糸賀一雄や尾崎放哉等の展示を開催する予定。

資料展名	開催日	来場者数
「書作品で味わう“放哉の句”」	25.3.15～5.15	1,046名
「ふるさと鳥取情報展2013 ～鳥取の昔と今～ 【ふるさと情報コーナー開設記念】	25.7.5～8.20	1,009名
「鳥取大地震 鳥取県地震防災展」	25.9.1～9.29	420名
「近代日本文学とともに歩んだ鳥取の文学者たち」 【ふるさと文学コーナー開設記念】	25.10.25～1.29	401名
小豆島のお宝資料展「放哉の足跡—終焉(しゅうえん)の地 小豆島」(放哉の会への協力)	26.1.20～1.30	871名
「日本近代化への礎」 【ふるさと人物コーナー開設記念】	26.2.21～3.23	*282名 (3/10現在)
「糸賀一雄生誕百周年記念展 ～教育と福祉への愛に生きて～」 (全国障がい者芸術・文化祭関連イベント)	26.4.11～5.11	予定



4 郷土に関する展示パネルの貸出について

学校や市町村図書館で展示できるよう、当館の企画展で作成した展示パネル(人物紹介、年表、写真等)を貸出している。各学校や地域で、ふるさと鳥取のことを知る機会として活用していただく。

【テーマ】鳥取大地震、鳥取大火、山陰海岸ジオパーク、鳥取県出身の文学者、尾崎放哉
鳥取県ゆかりの人物、糸賀一雄等